

事業所名: チャレンジキッズ長原園

令和3年度
東京都福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書(令和3年度)

2021年 12月 13日

チャレンジキッズ長原園
園長 蛭原美樹殿

郵便番号 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F

合同会社 福祉経営情報サービス

評価機関名

認証評価機関番号

機構 07 - 172

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H0403033
	②		福祉	H2001044
	③		経営	H1201010
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	地域型保育事業 小規模保育所			
調査対象事業所名称	チャレンジキッズ長原園			
事業所連絡先	郵便番号	145-0064		
	所在地	東京都大田区上池台1-7-7 スペックレジデンス長原1階		
	電話番号	03-6421-9311		
事業所代表者氏名	蛭原美樹			
契約日	2021年 9月 27日			
利用者調査票配布日(実施日)	2021年 9月 27日			
利用者調査結果報告日	2021年 10月 19日			
自己評価の調査票配付日	2021年 9月 27日			
自己評価結果報告日	2021年 10月 19日			
訪問調査日	2021年 10月 20日			
評価合議日	2021年 11月 2日			
コメント (利用者調査の工夫点、補助者・専門家等の活用などを記入)	利用者調査(アンケート): ・配布は事業所に協力をして頂いた。 事業評価: ・経営層自己評価の中で課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り現状の把握に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の調査結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

2021年 12月 27日

事業者代表者氏名 チャレンジキッズ長原園 園長 蛭原美樹 印



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1) 子どもも保護者もそこで働くスタッフも幸せで夢のような空間を創る2) 常に新しい挑戦を続ける(Challenge)3) 常識の壁を突き破る(Breakthrough)4) 最上のおもてなしを追求する(Hospitality)5) 地域密着運営
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none">・努力を惜しまない積極性とホスピタリティを持ち、仕事を通じて自分自身の成長やスキルアップを目指す人・現状維持ではなく、常に向上心を持って進化を求め人 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none">・仕事を心から楽しみ、誇りを持つこと・保護者やお子様と感動を共有し、笑顔で幸せな空間を創ること・常に前進する気持ちを持ち、保育の質の向上に努めること

調査対象	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数:16 世帯数:16		
調査方法	・調査項目:東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告:自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。		
利用者総数	16		
利用者家族総数(世帯)	16		
共通評価項目による調査対象者数	16		
共通評価項目による調査の有効回答者数	16		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	100.0		

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度の選択では「大変満足」が回答の50%、「満足」が44%、「どちらともいえない」が6%(1件)であり、回答者の96%が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。

総合感想の自由記述では、「家庭的な雰囲気、子ども達のことを大事にしてくださっていると感じています。」「いつも優しく対応して下さい感謝しております。」「子どもが毎日とても楽しそうに保育園で過ごしているようで、いつもみてくださる保育者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。」「毎日の連絡帳でどう過ごしているか伝わりありがたいです。」など、お子さんが楽しく通園していることを伝える回答や、職員の援助・支援や毎日の子どもの様子の連絡に関する肯定的、好意的な回答が見られた。そのほか、新型コロナウイルス感染症のリスクマネジメントに関する意見などが見られた。

個別設問の選択肢では「安全対策」に関する設問と「不満・要望への対応」に関する設問以外で「はい」の回答率が8割を超えている。また、「いいえ」の選択は僅かであった。なお、選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。自由意見欄には「先生方も周りのお友達も素敵で、良い影響を受けて、すくすく成長しています。」「毎日楽しく活発に遊んでいる様子で、日々の成長を感じています。」など、お子さんの成長を感じているという回答が多く見られた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	15	1	0	0
回答者の94%が「はい」を選択している。自由意見欄には「虫に興味を持っているところをあたたく見守ってもらっています。」「雨の日の室内遊びなど、飽きないように色々としていただいていると思います。」という回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	15	1	0	0
回答者の94%が「はい」を選択している。「お米中心の献立で、材料も米粉やてんさい糖を使うなど、健康に配慮していただけてるのでとても感謝しています。心身の発達には食が1番大切だと思いますので、とても有難いです。」「乳製品、小麦粉不使用という方針が大変素晴らしいと思います。」などの回答のほか、日頃の配慮への謝辞や「いつも美味しそう」などの回答があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	13	3	0	0
回答者の81%が「はい」を選択している。「お散歩で子供の体力もどんどんついており、色々なものに興味を持っていくのが目に見えてわかる。」といった回答のほか、「いつもと違う公園にも出かけてほしい」という旨の回答などがあった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	0	0	5
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。「大変助かっています。」「(保護者向けシステム)でお迎え時間の変更を簡単に行えるので、とても感謝しています。」という回答があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	9	5	1	1
「無回答・非該当」を除く回答者の60%が「はい」を選択している。自由意見では「なにかあれば、すぐに連絡をいただくので、対応いただいていると思います。」という回答や、けが防止のための設備(緩衝材)の要望が見られた。新型コロナ関連では予防および蔓延防止策に関する意見・要望があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	6	1	0	9
「無回答・非該当」を除く回答者の86%が「はい」を選択している。「土日に行事がないのはありがたい」という回答のほか、保護者が参加できる行事がないという回答が複数あり、「無回答・非該当」の選択も少なくなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	15	1	0	0
回答者の94%が「はい」を選択している。「ちょっとした質問など、親身に答えてくださいます。いつもありがとうございます。」「日々の細かい様子を伝えてくれるので、安心して預けられるなど感じる。」という回答があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	16	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由意見はなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	2	0	0
回答者の88%が「はい」を選択している。「言葉遣いや態度等は、適切で親近感もある。」という回答などのほか、コロナ禍で職員が着用するマスクの素材についての意見が見られた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	14	1	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の93%が「はい」を選択している。「きめ細やかに報告してくれ安心できる。」「(けがの報告のほかに) 細かな体調の変化もはやめに報告してもらえていると思う。」等の回答があった。また、虫に刺された際のかゆみ止めの塗布を要望する回答があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	1	0	7
「無回答・非該当」を除く回答者の89%が「はい」を選択している。この設問ではトラブルがあった際の説明に「納得できた。」旨の回答があったほか、「経験がないのでわからない」という回答があり、「無回答・非該当」の選択も少なくなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	1	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の93%が「はい」を選択している。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	12	2	0	2
「無回答・非該当」を除く回答者の86%が「はい」を選択している。この設問の自由意見はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	14	2	0	0
回答者の88%が「はい」を選択している。「毎日のダイアリー、夕方読ませていただくのを楽しみにしています。情景が浮かぶ細やかなダイアリーをいつもありがとうございます。」という回答のほか、「丁寧な連絡帳、助かっています。」としつつ、記入者により内容の厚みが異なる旨の回答があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	3	0	4
「無回答・非該当」を除く回答者の75%が「はい」を選択している。この設問では不満に思った経験はないが、「何かあったとしたら、対応してくれると思う。」旨の回答があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	7	3	0	6
「無回答・非該当」を除く回答者の70%が「はい」を選択している。この設問の自由意見はなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)	
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の予断があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>掲示やミーティングにおける周知により、理念や目標の浸透が図られている</p> <p>チャレンジキッズ長原園は「やってみようの心を育む」を保育理念として、子どもの好奇心や素直な気持ち、思いやりの心などを大切にしている保育園である。理念やスローガン、年度の目標と四半期目標は職員の目に留まるよう事務所内に掲示されている。また、園内ミーティングの議事録に理念を印字し、目標の周知の際には理念とスローガンを伝えて職員間で意識し、共有することで理念の浸透を図っている。保護者にはパンフレットに理念などをわかりやすく記載し、見学時や入園時に説明することで周知がされている。</p> <p>子どもを軸にして職員が自立的に動ける職員集団となることを目指している</p> <p>園長は着任後、毎週開催するミーティングにおいて保育園で目指すことを伝えたり、保育環境やチャレンジキッズのプログラムにつながる協力の大切さを職員に伝えている。経営層からの決定事項を受動的に実行する現場ではなく、職員が課題に取り組み改善や解決策を提案できる現場主体の組織作りに向け、役割分担や声かけなどの働きかけにより環境を整備し、子どもを軸にして大人が自立的に動けるような職員集団づくりに取り組んでいる。</p> <p>情報共有をしたうえで職員間で話し合い、園内の意思決定がなされている</p> <p>記録に残すべき情報などは社員が個別に持つメールアドレスに送信して職員と本部との間で情報を共有している。園内の案件については、まずは職員間で話し合い、メリットやデメリットを検討したうえで上長に報告され決定されている。また、週一回のミーティングにより職員間の情報共有がなされており、例えば子どもの発達に関する保護者からの相談や意見について、方向性を共有して迅速に対応できる環境がある。</p>			

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(000000)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	評点(000)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる	評点(00)	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者、職員からの意見を得て園運営に活かしている</p> <p>運営委員会は令和元年度までは対面で開催していたが、コロナ禍にあり、調査時点では書面による開催となっており、園の状況などを伝えて委員である民生委員と保護者から意見を得ている。そのほか、保護者からの意見は、保護者個々との連絡で利用している保育アプリにより個別に把握がされている。職員の意見や要望について経営層との随時の話し合いや個別の相談対応などで対応がされている。</p> <p>地域の動向やニーズを踏まえて園の課題が抽出されている</p> <p>地域の動向などは区の保育サービス課との連絡で情報を得ている。また、区の施設長会はコロナ禍により開催されていないが、区内池上地区の小規模園の施設長会は開催されており、参加により情報が得られている。そのほか、連携園から得られる情報等もあり、連携園の情報はしおりの配布などで保護者にも伝えている。園内では外部環境を把握のうえ、年度の目標を年度末に振り返り、次年度に向けた課題を抽出している。園運営については本部から情報を得ており、予算については園内で経費を管理し経理からの収支報告を毎月チェックして把握している。</p> <p>中長期経営計画が策定され、園内では目標を設定し達成に向け取り組んでいる</p> <p>中長期の経営計画は法人で策定している。2021年度の経営計画書では保育事業室版が策定されており、事業部門としての中長期的な展望が具体的になっている。また、中期課題から年度計画を策定し、年度の収支計画まで策定しており、今後は全体的な年度の実行計画から園の年度事業計画へ展開をしていく予定である。園の年度事業計画では現状を踏まえた年度目標、四半期目標が設定されており、期毎の実績確認に加え実施状況を見て適宜振り返り、着実な実行がされている。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えて		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
○あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		●非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇)・非該当1
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連合会、施設長会など)に参加している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p> ルールブックや社内研修、園内での周知などで遵守事項が丁寧に周知されている 入社前に配布されるチャレンジキッズのルールブックには、身だしなみのほか、仕事の心構えや取り組み姿勢、勤務、休暇、個人情報やプライバシー保護などについて掲載し、遵守事項をわかりやすく職員に伝えている。そのほか、社内では異動者向けの研修もあり、1か月の期間を設定し、チームワークや仕事の流れなどを指導する機会がある。また、次年度に向けた3月のキックオフ会でも遵守事項について伝えられている。園内では例えばプライバシー保護の一環であるSNSの投稿などについてはDVDの視聴を促し、また、日常的に職員に周知をしている。 </p> <p> 保護者からの意見を聞き取り、対応がされている 苦情解決制度については外部委員の連絡先や、区内において利用者が直接利用できるオンブズマン制度について園内の掲示等で利用者に周知している。また、園内に「目安箱」を設置し、保護者から意見を伝えられるようにしているが、保護者の意見や要望は日常的に保護者に声をかけ、会話や連絡アプリから主に把握している。得られた要望には園長が直接対応している。その際、子どもの成長や発達についても相談があれば、養育的視点を踏まえて応じている。 </p> <p> 虐待を早期に発見して関係機関と連携する体制がある 虐待対応については虐待発見時の通告(連絡)先をフローチャートにして掲示しており、園内で必要な行動をとり児童相談所など関係機関と連携する体制がある。情報公開についてはワムネットや大田区のWEBサイト、法人のWEBページで第三者評価結果の公表等がされている。 ※カテゴリ3-3-1-2、3-3-2-1については、東京都福祉サービス第三者評価の共通評価項目に関する通知で認証B型、認可外は任意項目とされていることから、定員、対象年齢が類似している当保育所の評価においても同ガイドラインに準拠し「非該当」としている。 </p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>安全性の確保策はマニュアルや掲示で周知され、訓練などで対応力が高められている</p> <p>地震や熱性痙攣、アレルギー、虐待、怪我発生時などの対応と行動についてはフローチャートを掲示しており、そのほか、虐待チェックシートや苦情、SIDS、プール事故発生時、感染症発生時の対応等が掲示されている。掲示物は非常にわかりやすい内容であり、防災面はチャートに沿って職員が即時の行動ができるようにしている。また、毎月の避難訓練は地震、火災のさまざまな想定をして実施されている。そのほか、テロ発生時や台風の時の対応などについても、系列園との連携などを検討し、職員への周知がされている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策など、園における各種リスクの低減に努めている</p> <p>園における安全性の確保については法人各園の園長ミーティングでも話し合い、検討して法人全体で共有し、対策をしている。新型コロナウイルス感染症対策では感染症ガイドラインに準拠して衛生面の対策をしている。今年度からCO2モニターを導入し、時間帯により窓を全開にして換気する、食事時は一列で会話はなるべく少なくする、手洗いの励行等、予防と蔓延防止策を徹底している。事故防止について、園内では怪我報告書を参考にして再発防止に努めている。BCPIについては災害時に園としての的確な行動ができる内容で今後整備してゆく意向がある。</p> <p>情報の保護と共有に配慮し、個人情報についてはアクセスを限定して保護している</p> <p>書類は整理され情報を閲覧しやすいよう管理されている。グループ園等との情報共有についてはグループウェアを活用している。社内データを保管する共有フォルダは基本的に職員が閲覧可能であるが、権限により一部ファイルは閲覧の制限をしており、個人情報の保護については運営法人で策定している規程に則り閲覧できる階層を限定して保護に努めている。また、職員向けにガイドラインが作成されており、入社時には秘密保持等、情報漏えいに関する誓約書を得て、間違いない運用を期している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経歴等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意欲を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-5の講評		
職員一人ひとりの課題を具体的に把握して人材の育成に取り組んでいる 保育事業部門に特化した7等級の役職等級制度を今年度作成し、キャリアパスを運用している。人事制度は作成されたキャリアパスに沿って運用されており、行動指針を明記し、マネジメントと一般用の評価シートを作成して面談のうえ評価が決定されている。人事制度についてはハンドブックを作成して職員に周知されている。また、職員個々は「C・B・Hシート」を用いて定期的に目標設定と仕事の振り返りを行っている。C・B・Hシートと年2回の定期面談により、具体的に職員個々の課題を把握して改善と育成に活用している。		
外部研修やOJTなどで職員個々のスキルアップを支援している 外部研修は内容を吟味して参加させており、オンラインで実施される研修などに職員が参加している。受講後は必ずレポートを作成し、グループウェア上やミーティングで共有している。 社内研修として以前実施されていた海外(ハンガリー)研修はコロナ禍で休止となっているが、収束した時には再開する予定としている。コロナ禍における園内での指導では書籍や研修報告を読んでもらうなどしており、園で推進するハンガリー保育についてはチャレンジキッズプログラムを実践する中で考え方や一日の流れ、保育士の動きなどを身につけてもらっている。 チャレンジを奨励し、福利厚生面の充実化等で働きやすい職場づくりを推進している 社内で保育士資格を所持していない人で意欲がある人には保育士資格取得にチャレンジもしてもらっており、試験料を1回補助するほか合格時には一時金を支給し資格取得を支援している。努力義務であるストレスチェックは法人として全職員に実施しており、産業医の面談なども可能である。 園内では毎週行われるミーティングにて課題の解決や目標達成に向けた検討などを行なっている。その中で職員が互いに意見交換ができるよう留意しており、保育については園長からテーマや課題を投げかけ話し合うことで理解を深めることにも取り組んでいる。		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度はチャレンジキッズ長原園の目標のひとつとして「子どもが安心して楽しく過ごせる保育」を掲げ、環境とチャレンジキッズプログラム、保育者間の連携について重点項目として掲げた。目標を四半期ごとに振り返り、四半期ごとにけがや事故を起こさない環境づくりや保育者間の情報共有の徹底、報連相の徹底、保育の流れの確立などの四半期目標を設定し年間を通して取り組んだ。結果を振り返り、今年度はチャレンジキッズプログラムの共通理解と実施、報連相の徹底をそれぞれ園の目標として掲げて取り組んでいる。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園の目標を明確に表記して事務所に掲げ、各目標を四半期ごとに振り返り、四半期目標を立てて実施事項の修正を行ない目標達成に向けて取り組んでいる。達成状況を振り返り、検証の結果を次年度の目標に反映させている。

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>前年度のチャレンジキッズ長原園の目標のひとつとして「働きやすい職場環境の構築」を掲げ、コミュニケーションやお互いの仕事のフォロー、残業0、有給取得の奨励を重点項目として掲げた。チームワークを大切に協力体制を強化することや情報共有の徹底などを四半期目標として順次掲げて年間を通して職場環境の充実化に取り組んだ。福利厚生面の充実化については今年度も継続して力を入れ取り組んでいる。</p>	
<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>園の目標を明確に表記して事務所に掲げ、各目標を四半期ごとに振り返り、四半期目標を立てて実施事項の修正を行い目標達成に向けて取り組んでいる。達成状況を振り返り、検証の結果を次年度の目標に反映させている。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものとしている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実態があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>園のウェブページやSNSサイトを活用し、園概要や保育の様子を広く発信している</p> <p>園のウェブページやSNSサイトを活用して園の情報を発信しており、ウェブサイト内で頻繁に更新されているブログでは園で実施している行事や食育、日々の保育園生活の中での戸外遊びや食事など、子どもの様子を伝えている。また、SNSサイトでは給食の写真などをアップして紹介している。</p> <p>入園説明会で使用するチャレンジキッズのしおりや長原園のしおりには「開業ストーリー」や理念、子どもたちや保護者へのメッセージが記載され、チャレンジキッズの想いが伝わる内容となっている。</p> <p>園のしおりやチラシなどを近隣地域にも配布し、積極的な情報提供がされている</p> <p>園の空き情報等を区に提供しており、空き情報は区の保育関連ページから確認ができる。インターネットのほか、「第二の実家」というコンセプトやチャレンジキッズプログラム、安心安全な給食、保育室の環境等、園の特徴が記載された園のしおりや入園案内などは地域の児童館などにも設置し、地域の人たちの目に留まるようにしている。また、園で人気のおやつレシピを掲載したチラシを園舎前に設置し、前面の道路を通行する人が自由に持ち帰れるようにしており、地域に向けた積極的な情報提供がされている。</p> <p>入園希望者向けの案内は詳細に作成されており、丁寧な見学対応がされている</p> <p>入園希望者からこれまでに問い合わせが多かった質問をまとめてQ&Aを作成し、ウェブページや説明会資料に掲載している。園見学は入園申し込み前の10月頃に希望が多く、年間30組程の見学がある。日程は希望者と園の都合に合わせて柔軟に決め、なるべく早めに見学ができるよう調整することになっている。見学の対応は園長が行い、詳細な案内が記載された園のしおりに沿って案内している。案内時は保育環境のほか、ハンガリー式の流れる保育のことや子どもとの関わり方など、園として大切にしていることについて説明することになっている。</p>			

		サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前面談で重用事項を丁寧に説明し得られた情報は内部で共有して保育を開始している</p> <p>入園決定後は入園時の必要書類を保護者に送付し、入園前に個人面談を実施している。個人面談では重要事項や利用契約の内容の説明を十分に行い同意書により同意を得ており、心配事や不安な点等に回答して入園時の不安解消に努めている。保護者から提出された書類は個人別のファイルに綴じ、事務所に保管している。登園が開始される前には保護者に提出してもらった家庭状況調査書などを参考にして子ども個々の状況や環境を把握し、食事、睡眠、排泄、発達、遊び等については面談で詳しく聞き取った情報も職員間で共有して保育をスタートさせている。</p> <p>入園後は子どもが少しずつ不安を解消し安心して保育園に慣れていけるよう配慮している</p> <p>入園後は慣らし保育を実施し、子どもが少しずつ不安を解消し安心して保育園に慣れていけるよう留意している。慣らし保育は基本的には20日程度の日程で組むことが多いが、保護者の就業状況に応じ1週間程度で行うこともあるなど柔軟に対応している。また、例えば昼寝をすることが難しいようであれば保護者に連絡を入れて迎えに来てもらう等、子どもの様子を見て個々に対応している。</p> <p>連絡ツールの継続利用や卒園児への手紙の送付などで卒園児とのつながりを持っている</p> <p>子どもの在園時に園との連絡に利用していた連絡アプリを卒園後も継続して利用できるようにしており、保護者が卒園後も園との連絡を取れるよう配慮している。また、卒園児には年賀状を送付し、卒園後すぐに園とのつながりが途切れないようにしている。これらの取り組みにより、卒園児の保護者から問い合わせが入ったり、土曜日や園の前を通りがかりに卒園児が訪問してくれる等、卒園児とその家庭とのつながりを持つことができている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
日頃から職員間で話し合いを持ち、その内容を各計画に反映している 入園前の子どもの心身の状況や生活状況は健康管理表や児童票、発達過程の記録等に記録し把握される。保育の全体的な計画に沿って年間指導計画、月間指導計画(月案)が立てられており、個別指導計画は在園児が1、2歳児なので全員分作成されている。入園当初の個別月案は入園時に確認した子どもの姿や面談で把握した保護者の要望・ニーズを反映して作成されている。毎月子ども個別に振り返り翌月の計画が立てられており、日頃から保育者間で子どもについての話し合いが行われているため話し合った内容が計画に反映されている。			
子どもの小さな変化も記録し、その姿を詳細に捉えて各計画が作成されている 月案はクラス担任同士で見直すほか、園全体の話し合いの中で計画の評価、反省が実施されており、その内容に基づき子ども達の状況と発達、子どもの姿を踏まえて翌月の計画が作成されている。月案には保護者支援についても記載しており、個別の連絡アプリや日常の会話から得られた保護者からの要望や相談などを踏まえた保護者支援が計画されている。また、日々の保育は具体的な内容を記載した週案に沿って実施され、週の評価、反省では子どもの姿の小さな変化も見逃さないよう意識して記録し、次期の計画につなげている。			
子どもの情報は職員間で共有しやすいようファイリングの配慮がされている 子ども個々の記録は一冊のファイルにまとめられており、それを見れば子どもの発達状況や個別の月案、健康記録、家庭の状況等、その子どもの保育に必要な情報を確認することができる。また、登園時、降園時に保護者から聞き取った子どもの情報や家庭の状況などは送迎者名簿の備考欄に記録し、職員間で共有するとともに、保護者への伝え漏れがないようにしている。これらの子どもの情報は職員が見やすいよう保管場所も考慮し、職員間で情報共有がしやすいよう配慮されている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>園内での生活や写真の扱い等、プライバシー保護を徹底している</p> <p>プライバシー保護については利用契約書に明記し、入園時に口頭と書面で説明して同意署名を得ている。また、インターネットで写真販売を行うにあたり掲載の同意確認を保護者から得ているほか、購入した写真の取り扱いに関する誓約を保護者から得る等でプライバシー保護に留意している。</p> <p>設備面では、園舎の窓は外からの陽光を取り入れつつ外部から見えないような加工がされている。また、おむつ交換時は他児から見えないよう場所を確保して交換しているほか、衣服の着脱時等、日常の保育の中での子どものプライバシー保護に配慮している。</p> <p>日々の保育では子どもにとっても丁寧な言葉がけがされている</p> <p>視察時の保育の中では個々の子どもが「やりたい」と思って行動している姿を保育者が見守りながら援助する場面が多くみられた。やっつけはいけないことや約束事などは子どもにわかりやすいように話をし、理由も丁寧に説明していた。日々、園長からは「小さな子どもはわからないからこそ、一人ひとりに丁寧に伝えてほしい」と職員に向けて伝えられており、保育者皆が子どもにとっても丁寧な説明や言葉がけを行う姿から、園長からの発信が浸透しているものと推察された。</p> <p>掲示やマニュアルにより虐待防止および対応の認識を高めている</p> <p>虐待防止については対応マニュアルを整備し、虐待発見時の行動の流れをフローチャートにして園内に掲示して、職員間で認識を共有している。また、心配な事案がある時には職員全員で共有し、全員で見えていくことに取り決めている。虐待防止や育児困難家庭への支援については研修に参加したり、勉強会を実施することで全職員のスキルアップを図っていくことも検討している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようになっている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種マニュアル類は、保育・業務のガイドラインとしてわかりやすく作成されている</p> <p>保育・保健・防災・事故・不審者対応・危機管理・散歩・個人情報・虐待・苦情などについての対応マニュアルと、「ハンガリー保育」を手本にした子どもへの関わり方の手引き等が用意されている。マニュアルは各クラスに置き、対応に迷ったときには見ることができるようにしている。また、新しく入職した職員には読み合わせを行い内容の確認をしている。また、チャレンジキッズプログラムのマニュアルは姉妹園の園長たちで作成したものであり、同じエリアの姉妹園3園の間ではマニュアルの記載事項が各園でしっかり行われているか相互に確認をしている。</p> <p>行動の手順をわかりやすく示す実践的なフローチャートを作成して活用している</p> <p>マニュアルの見直しは必要に応じて随時行われており、不足している点や変更が必要なこと等について各園からの意見を法人保育事業室が聞き取り見直している。例えば嘔吐処理などは一つの対応ではなくケースに合わせて対応ができるようにしていく等、現状や必要性に応じてマニュアルを見直していくことにしている。マニュアルのほか、行動の手順をわかりやすく示す各種フローチャートが園内に掲示されており、必要時に迅速かつ適切な行動がとれるよう配慮されている。何か起きた時にはチャートに沿って動くことを基本として机上訓練なども実施している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	34/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	●非該当	
評価項目1の講評			
<p>『『やってみよう』の心をはぐくむ』理念のもと、一人ひとりに寄り添う対応をしている</p> <p>子どもが自ら「やってみよう」と思う気持ちを持てるよう意識して子どもへの支援をしている。また、いけないことは否定ではなく繰り返し伝えるなど、伝え方の工夫をしており、「なぜそうした方がいいのか」を自分で考えられるような機会を作るよう心がけて支援している。玩具は使いたい子どもに行き渡るよう数を揃えるなど環境面にも配慮しており、1、2歳児と一緒に過ごす朝夕の合同保育では、個々の子どもが好きな遊びを選べるように環境を整えている。また、それぞれが好きな遊びをする中で一緒に遊ぶ友達の想いに気づけるように援助している。</p> <p>子どもが生活や他児との関係性において安心し、信頼を育めるよう援助している</p> <p>特別な配慮が必要な子どもについては、意識的に声かけを行う事や言葉での伝え方に留意して支援をしている。また、例えば、その子どもが他児に興味を示したり他児がその子どもに興味を示した時には、互いの触れ合いを見守り、それを発展させて触れ合い遊びを存分に楽しめるように仲立ちをして他の子どもに対する安心感や信頼感を育めるようにするなど、個々に応じた計画を立て丁寧な支援をしている。</p> <p>子どもの思いを受け止め受容的に関わり、発達に応じた丁寧な援助がされている</p> <p>発達過程におけるトラブルの対応については、お互いの思いを受け止めた上で受容的に関わることにしており、トラブルが発生した際には、関係性や関わりについて発達に応じた伝え方で子どもに丁寧に伝えている。また、例えば玩具の取り合いであれば同じ玩具を揃えるなど、トラブルを回避できるような環境を考慮してつくっている。噛みつき等で家庭との連携が必要な場合などは、子どもの様子を保護者に伝え連携した対応などを行っている。園では職員全員が子ども個々の発達と適切な援助の方法を理解し、共有する精度をさらに上げていくことを指向している。</p>			

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当	
●あり ○なし		2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当	
評価項目2の講評					
<p>登降園時はICTも活用して連絡事項を保護者、職員間で共有している</p> <p>登園時には事前に連絡アプリで子どもの様子や登園予定などの情報を確認したうえで、玄関で1対1で受け入れ、視診と保護者への聞き取りをしている。アプリにより発熱の有無や体調、睡眠や機嫌など、登園時に確認する情報が事前に得られており、また、日中の個々の姿はアプリを通じて保護者に詳しく伝えているなど、ICTが有効に活用されている。お迎え時は信頼関係を構築する目的もあり担任が勤務しているときは担任が対応するようしており、シフトの関係で担任が対応しない時には退勤時に十分な引継ぎをしている。</p> <p>子ども一人ひとりのリズムやタイミングに合わせた保育を行うことができている</p> <p>トイレトレーニングは家庭主導で進め、家庭で出来たら園で対応する事になっている。食事や排せつの支援は一斉に行わず、個々に関われるように時差をつけて実施している。食事では様子を見守り、食べるペースを伝えたり、スプーンの使い方や食器を持つこと、排泄ではパンツやズボンの穿き方等、個々の発達に応じて伝えている。また、子どもの「やってみたい」気持ちを尊重し、排泄が成功したら褒めるなどの声かけがされており、励まされたり、自分でできたことを褒められることで、次への意欲につながる援助がされている。</p> <p>子ども個々の状況に合わせた細やかな援助がされている</p> <p>午睡の支援では、例えば給食の途中で眠くなる子どもは無理に給食を進めるのではなく眠れる環境を作り眠らせてあげたり、午睡時間に眠れない子どもは少し横になって休憩をさせたり、早目に目覚めてしまった子どもには静かな遊びを提供するなど、個々に合わせた対応をしている。</p> <p>園では日頃から職員間で子どもの姿の話しあっており、子どもの姿が共有できている。援助全般においてそれぞれの子どものできる段階によって細やかに援助の仕方を変化させている。</p>					

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>成長に合わせて環境を整え、子どもが主体的に遊べるよう見守り、援助している</p> <p>環境設定では子どもたちが遊び込んだり、遊びが発展していくように玩具の配置を考えるなどで環境づくりをしている。保育室にはままごとコーナーや絵本のコーナーが設定され、室内遊びの時間には好きな場所で好きな遊びを楽しめるよう環境が整えられている。1、2歳児が興味を持って遊べる玩具が子どもの手に取りやすい位置に置かれ、自由遊びの時間にはそこから自分たちで玩具を出して遊ぶ姿が見られた。子ども同士の遊びが展開されている時には遊びが途切れないよう、一緒に遊んでいる子ども同士で給食の時間を合わせるなどの配慮がされている。</p> <p>友達とのやり取りの仲立ちをして援助し、歌や製作など、言葉や表現を育てている</p> <p>遊びの中ではその場面に合った歌や、季節や行事に関連した歌などを一緒に歌ったり口ずさんだりしている。日々の保育者や友達同士のやりとりの中で主体性が育まれるよう援助しており、1、2歳児の保育であるため、集団活動の前段階として友達とのやり取りの仲立ちをしている。園外に出かける時には子どもたちに誰と手をつなぎたいかを尋ね、子どもの意思を尊重しペアができるのを見守っている。自分の思いを表現できるよう援助し、想いが通らずうまくペアができないこともあるが、そのような時は気持ちが切り替えられるような声かけがされている。</p> <p>天気の良い日は戸外に出かけ、散歩や公園での遊びを楽しんでいる</p> <p>園内には散歩マップの掲示があり、よく行く公園についてはその公園までのルートも記載され周知されている。天気の良い日は園外活動を実施し、健康な身体づくりを意識して戸外で身体を動かしている。公園までの道のりで歩道を歩くときには、車が通行する際の注意のほか、安全確保のための歩き方、途中にある住宅の庭に生えている木や植物のことも会話に取り入れ、子どもたちが周りの環境や状況を見ていろいろなこと気づけるよう声かけや動きかけを行っており、行き帰りの時間も有意義に過ごしている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが楽しめるよう考慮し、季節ごとの行事を実施している</p> <p>行事は保育者や子どもたちにも負担にならないよう、製作や壁面装飾などにはこだわらず、雰囲気を楽しめるようなねらいで実施している。子どもの日やお月見、お正月遊び、節分、ひな祭り等、日本の伝統的な行事を中心に実施しており、実施時は行事にちなんだ製作を行ったり、歌を歌う、絵本を読むなど、行事に向けた時間の中で行事の雰囲気を味わい、楽しめるようにしている。例えばハロウィンでは、ハロウィンのお化けを指スタンプで表現するなど製作物を作って保育室に飾り、お化けの本を読んだり、散歩の時にハロウィンの飾りを見つたりしている。</p> <p>興味と関心を高め、達成感や皆で行うことの楽しさが味わえるような行事を実施している</p> <p>お月見の団子づくりでは団子飾りを見て、「みんなで作ってみようか」と、保育者が子ども達に投げかけ、作った後に達成感が味わえるような声掛けをしながら、みんなでお団子作りを楽しんだ。また、当日は月見団子風の給食を出してもらうなど、子どもの興味と関心を高めて楽しんでもらっている。</p> <p>クリスマス会では手作りの楽器を使いみんなで演奏して楽しんだ。手作りのハンドベルや鈴などに触れ「こんな楽器がある」という事を知らせたりしながら、皆で行うことの楽しさを体験してもらっている。</p> <p>SNSに掲載する等で行事の様子を保護者に伝えている</p> <p>実施した行事の様子は保育者が撮影した写真やSNSへの投稿により保護者に伝えている。園で実施する行事に関しては、家庭でも話題にしたり、関連することを子どもと一緒に取り組んでもらうなどを保護者にも呼びかけており、行事に向けて歌っている歌を「家でも歌っている」と保護者から伝えられることもある。</p> <p>保護者が参加する行事は実施しておらず、保護者が参加できる行事を望む保護者には一人ひとりに行事についての考え方や保護者参加の行事がない理由を言葉にして伝えている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>個々の様子を見極め、子ども一人ひとりが安心して寛げる環境づくりをしている</p> <p>夕方の時間帯はゴロゴロと横になれるようにマットを敷くなど体を休めることができるような環境を作り、また、子どもが少なくなってきたら保育室を移動したり、日中あまり出さない玩具(トランポリン)を出し日中の保育とは違った特別な遊びを行なっている。調査時は長時間保育になる子どもはあまり在籍していない状況であったが、子ども一人ひとりの様子を見極め、ゆったり過ごせるスペースを確保することに留意して延長時の保育を行なっている。</p> <p>朝夕の時間は保育者が充分に関わり、子どもが安心して過ごせる環境となっている</p> <p>朝、夕の子どもが少ない時間には保育者と十分に関わり、触れ合い遊びをしたり、仲の良い友達とじっくり遊べることから、その時間を子ども達もとても楽しんでいるとのことであった。園全体の職員が子ども全員を見れるよう日ごろから意識して保育を行い、安心して過ごせるようスキンシップを図っていることで、子どもが担任以外の保育者とも安心して過ごせることができる環境となっている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>食事スペースを設け、子どもたちが安心して食事ができるようにしている</p> <p>給食は子どもが落ち着いて食事をとれるよう時間を調整し、コロナ対策を行なったうえで子ども2名につき保育者1名を配置して少人数で摂っており、食事中は保育者が個々の子どもに丁寧に関わっている。また、食事のスペースを設け、食べている子どもが集中して食事がとれるように、遊んでいる子どもを背にする配置にするなどの工夫をしている。そのほか、子どもの体の大きさに合わせて足置きを置き、足の裏がしっかりと地面に着くよう細かな配慮もされている。</p> <p>子どもがのびのびと食事し、食べることを楽しむことができる環境となっている</p> <p>行事ではテーブルに飾り付けをして子どもが楽しく食事できるように配慮している。優しい声かけで食べたいものを好きな順番で好きなだけ食べ、のびのびと食事ができている。給食ミーティングでは食事内容を検討したり、新メニューの検討などが行われており、個々の発達に合わせた食材の大きさや長さへの考慮のほか、行事のおやつなども子どもが食べやすいよう提供の工夫がされている。アレルギー対応では三大アレルギーを除去した給食を全員に提供しており、上記の範囲であればリスクなく、皆と同じ場所で食事をする事が出来ている。</p> <p>食育活動では野菜を栽培し、自分たちで収穫することを体験させている</p> <p>水耕栽培でニンジンや大根を育てるほか、前年度はシイタケを栽培し、今年度はかぶの栽培を行っており、収穫の日にはかぶ料理の提供を計画した。保護者には毎月区から届く給食だよりと園からの食育だよりを配布しており、食育だよりには食育のことや毎月園で提供している郷土料理についての記事を掲載して園の取り組みを伝えている。玄関に掲示して保護者に知らせ、子どもも興味を持てるようにしている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが理解しやすいように意識して安全確保や健康維持について伝えている</p> <p>子ども本人の健康維持につながるよう、手洗い、うがいの声かけや危険防止についての呼びかけを行っている。「咳が出るからお茶を飲もうか」「鼻が出ているから鼻を拭こうか」「道路を渡るときにはどうする？」など、なぜそうするか、危険が無いようにどうしたら良いかなど、理由を伝え、自分たちで考えられるような言葉がけを意識して行っている。また、大便をしたら肌荒れを防ぐため、その都度おしりを洗っている等、子どもの健康や体調維持に細やかな配慮をしている。</p> <p>嘱託医と連携して子どもの健康管理と健康維持のための援助をしている</p> <p>健診前には保護者に嘱託医に聞きたいことについてアンケートを取り、医師に確認している。子どもの健康については園長が把握し嘱託医と連携し必要に応じて嘱託医につなげており、健診を通した内科や歯科との連携が中心になっているが、それ以外の科の医院とも連携を深め健康講座なども自分たちで考え実施できるようにしていきたいという意向がある。</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもには入園前に医師の指示書や生活管理指導票の書類を保護者に渡しその内容に基づいた対応がされている。</p> <p>感染症やSIDSなど、保健・衛生に関する情報を保護者に伝え連携を図っている</p> <p>保健に関する情報は毎月区から届く情報を園向けに編集した保健だよりを作成して保護者に配布している。また、感染症が発生した時には玄関に発生状況を掲示して感染症の種類とクラスの状態等を保護者に伝え、症状が出たら受診してほしいという事までを伝えている。乳幼児突然死症候群については区からのチラシを配る際に予防策について保護者に伝えている。園では午睡時は10分おきに呼吸と顔色、体位などを確認し、うつ伏せになっていたら仰向けにする等、SIDSの予防対応をしており、睡眠チェック表に記録している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育方向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや就労をする保護者のサポートを手厚くおこなっている</p> <p>チャレンジキッズのこだわりとして、「らくらくセット」のサービスがある。毎日の荷物を最低限に止め、おむつは園で用意し持ち帰りもなく、エプロンやタオル類も園で準備する有料サービスであり、保護者の手助けになる保育園になりたいという思いから実施している。延長保育は当日の申し出にも対応している。また、16時30分までに連絡を入れれば軽食の提供も可能である。土曜日保育は基本的に前週までに申し込みをもらうが急な依頼にも対応している。また、病院の見舞い等仕事以外の事情であっても預かっており、柔軟な支援が実施されている。</p> <p>毎日の連絡を細やかに行ない、信頼関係づくりをして発達などの相談に応じている</p> <p>子どもの様子を連絡アプリで日常的に細かく保護者に伝えている。連絡アプリ経由での保護者からの相談もあり、相談があった時には当日の降園時に担任や園長が対応することとしている。実際に丁寧な対応がされており、発達や園での子どもとの関わり等、細かな連絡ができていた様子であった。園では保育参観や懇談会は実施していないが、新入園児の登園初日に「ふれあい会」を実施している。「ふれあい会」では保育者、子ども、保護者の三者交流を実施し、園における当初の生活のことや保育アプリの使い方等、必要なことを保護者に伝えている。</p> <p>発達や子どもとのかかわりについては適宜、個別に保護者に伝えている</p> <p>保護者には個々の発達と発達に合わせた子どもとの関わりなどについて、その都度、個別に伝えている。例えば1歳児クラスから2歳児クラスに進級する際や、卒園して他園へ移行するとき等には、進級にあたりできるようにしていきたいことなどを保護者に伝えている。園としては今後姉妹園と合同で食事について伝えたり、親子で料理して食事をする機会を持つことなども実施していきたい意向があり、今後の取り組みに大いに期待したい。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>日常の中で商店街など近隣地域の人たちと触れ合う機会がある</p> <p>勤労感謝の日には囑託医や近隣の商店や会社に製作物をプレゼントしに出かけている。商店街ではお店の方が子どもが見て喜びそうな置物を置いてくれ、子どもがそれを見るのを楽しみにしているなど、日常の中で地域の方とのちょっとした触れ合いがある。散歩中はどの職員も地域の方に元気に明るく挨拶をしている。また、地域の方も道を譲ってくれたり、笑顔で子どもが歩く姿を見守ってくれる姿があり、自然な交流がある。</p> <p>子どもが職員以外の人と交流できる機会の確保は課題となっている</p> <p>園の行事に地域の方を招いたり、地域の行事に子ども達が参加するといった交流は課題としている。依然コロナ禍にあり、また、在籍する子どもが1、2歳児でまだ小さいことや地域でのお祭りが無い等、地域との交流が難しい環境ではあるが、園として出来る範囲での地域交流については今後も検討を重ねていってほしい。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	ハンガリー式の保育を取り入れ、1対1で個々の子どもに丁寧に関わる援助がされている	
内容①	ハンガリー式保育を取り入れ、1対1の丁寧な関わりを心がけ保育を行なっている。一斉保育ではないので、保育者一人ひとりのスキルがなければ目指す保育が実践できないことから、自然に子どもを引き寄せるスキルの習得などにも力を入れている。そのため週1回のミーティングで日常的に話し合うほか、実際に本場のハンガリーに研修へ行くことや(コロナ禍につき休止中)、ハンガリー式保育を取り入れている他の園や認可園等に行き視察、見学なども行なって、自園で話し合い組織と職員個々の保育の質の向上に努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	献立や食材を工夫し、卵・乳・小麦を使用せずに、安全で楽しい給食を提供している	
内容②	毎月、郷土料理を提供しているほか、使用するお米にもこだわって日々の給食を提供している。また、安全な食事提供の一環で、卵、乳、小麦粉を除去した給食を子ども全員に提供している。このことで卵、乳、小麦粉のアレルギーを持つ子どもの誤食リスクがなくなり、全員が同じ場で一緒に食事できている。アレルギーを持っていない子どもは各家庭で卵・乳・小麦を積極的に摂取してもらうなど、保護者にも理解を得て実施している。三大アレルギー以外(ゴマや大豆など)の食物アレルギーについては除去対応を行なっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している
タイトル③	職員が仕事と生活の両方を充実できるよう、環境の充実化に向けた各施策を推進している	
内容③	キャリアパスや人事評価制度の改訂、海外研修等で人材育成面を充実させ、また、有給休暇取得率の改善や残業時間ゼロの取り組み、育児休暇の奨励、時短勤務、シフトの考慮などして福利厚生面の充実に取り組んでいる。職員が仕事のやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方ができるよう諸施策を推進しており、仕事と生活の両方を充実するワークライフバランスの実現に取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育理念に基づき、子どもの言葉からの気づきを大切にして、子ども一人ひとりに丁寧に言葉をかけ働きかけている
	内容	「やってみようの心を育む」を保育理念として、子どもが自分で行おうとする意欲を持てるよう、言葉がけなどの関わり方や環境の設定を大切にして実践している。保育者は子どもが理解しやすい話し方で、子ども自らが考える機会をつくることを意識しつつ、みなとても穏やかで優しく丁寧に子どもたちに接している。衣類の着脱など、保育の各場面で子どもの行動を見守ることや、自分で行おうとする姿を励まし、出来たことをほめる事を応答的にゆっくりと行うことができている。子どもが自分でできたと感じられるようなさりげない援助がされている。
2	タイトル	園としての明確な保育観を持ち、保育者は園が目指す保育を理解し、協力してその実践に取り組んでいる
	内容	園で力を入れている「ハンガリー式保育」に基づき、チャレンジキッズの保育のかたちである「流れる保育(子どもの行動を止めない流れるような保育)」を現場で実践している。保育環境面ではコーナーを設け、玩具や絵本など子どもが楽しみ、興味に応じスムーズに遊びを展開できる環境が整えられている。給食は子どもの遊びの様子を見て順番に少人数で丁寧に提供しており、給食前の時間帯も時間配分や子どもの活動の流れを上手に組み、給食を待つ時間も子ども達が落ち着いて有意義な活動ができている。子どもの生活の流れを考えた工夫が随所に見られた。
3	タイトル	職員間で日々話し合い、また、目標達成に向けOJT等により個々にサポートして保育の質の向上に取り組んでいる
	内容	職員間では毎週のミーティングや日々のコミュニケーションの中で意見交換を行い、理念を理解し子どもの姿や保育に関する認識を共有して日々保育にあたっている。能力やスキルの向上については個々に目標設定をして達成に向け取り組んでいる。また、例えばチャレンジキッズプログラムの理解と実践の中での指導や書籍の紹介など、個々に合わせたOJTで細やかなサポートが実施されており、園の理念を理解し実践する人材の育成がされている。今年度は法人で保育に特化したキャリアパスモデルを策定し、法人としても人材育成の体制強化を推進している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業継続計画(BCP)については早目に着手し策定することを期待する
	内容	安全の確保については地震や熱性痙攣、感染症発生時、怪我発生時などの対応行動をわかりやすく掲示し、また、毎月の避難訓練ではさまざまな想定をして、職員が迅速かつ適切な行動ができるよう体制が整えられている。コロナ禍にありこの1, 2年は緊急性が高いコロナ対応を優先しており、事業継続計画(BCP)については園としても課題として認識し今後策定する予定としているため、機会を見て早目に着手されることを期待したい。
2	タイトル	地域と連携した取り組みについては時間をかけて園としてできることを検討してほしい
	内容	地域ネットワークへの積極的な参加や地域貢献については園としても課題認識をもっている。コロナ禍にあり推進しづらい環境もあり、この点は時間をかけてネットワークへの参加を進めることや、地域小規模という特性を活かして出来る連携や貢献を検討していくことを期待したい。
3	タイトル	今あるビジョンの実現に向けた取り組みを期待する
	内容	子育てや就労をする保護者のサポートを手厚くおこなっている。また、毎日の保護者との連絡を細やかに行ない、子ども個々の発達とそれに合わせた関わりなどについてその都度個別に伝え相談にも応じている。保護者の養育力向上に向けた全体的な取り組みは今は特に行っていないが、今後は機会を持ちたいと考えており、地域の子育て家庭の支援も視野に入れているため、今あるビジョンをプランにまで高めるとともに、実現に向けたアクションを期待したい。